

2025年度 修士2年生対象 修了時における学修成果に係る自己評価アンケート結果

【設問】 本学修士に入学後に学んだこと、経験したことを振り返り、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に掲げている能力や知識が、どの程度身についたかを回答してください。(2026年3月調査実施)

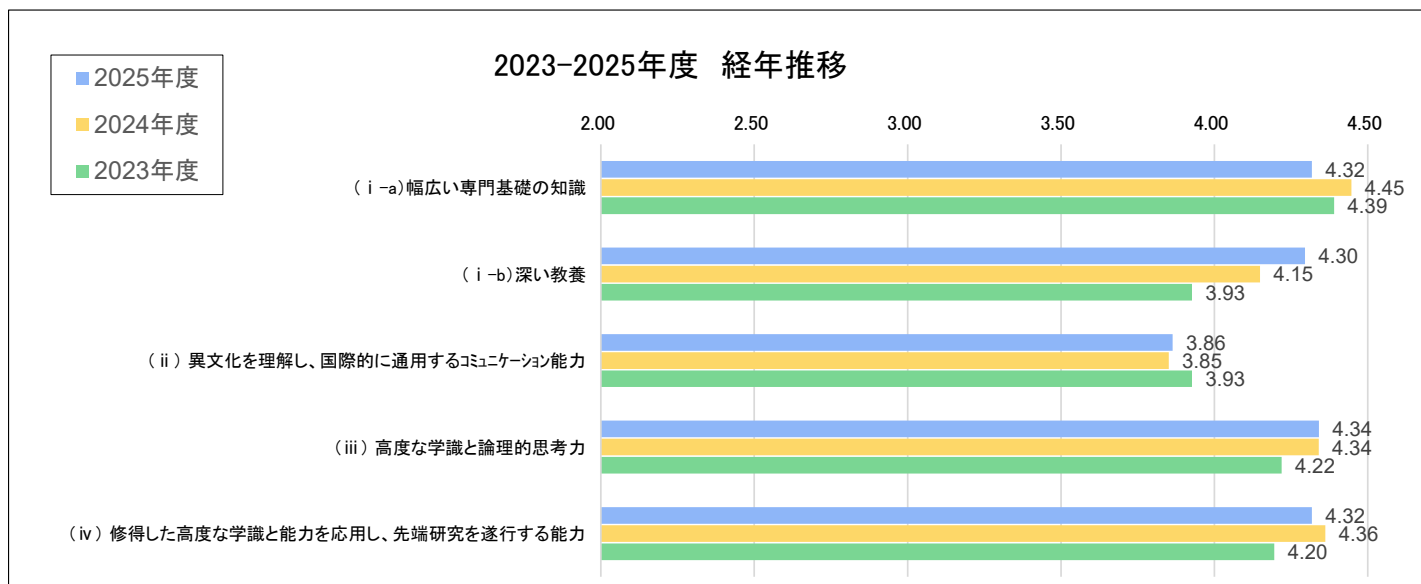
＜主な活動・出来事＞

講義科目(専門科目)、主専攻・副専攻履修、教養科目(科学・技術と人間・社会、各種講演会)、英語科目(科学技術英語・海外英語演習)、TOEICスコア、E-SUP制度、iPlaza活動、外国人研究員等との交流、定期試験、レポート作成、課外活動(同好会・天樹祭・アクティブチャレンジ等)、国際寮での生活、TA実習、教員の研究指導、学会発表、論文投稿、修士学外実習(国内・国外)、TTIC留学、研究室セミナー、修士研究、修士論文作成、研究発表会、就職活動 など

【回答集計】

2025年度	回答率88%(回答者数44名/修了者数50名)						平均 (5段階評価点)
	身についた (5点)	まあ身についた (4点)	どちらとも言えない (3点)	あまり身につかなかった (2点)	身につかなかった (1点)	回答者数 (人)	
(i-a) 幅広い専門基礎の知識	18	22	4	0	0	44	4.32
(i-b) 深い教養	15	27	2	0	0	44	4.30
(ii) 異文化を理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力	15	15	8	5	1	44	3.86
(iii) 高度な学識と論理的思考力	16	27	1	0	0	44	4.34
(iv) 修得した高度な学識と能力を応用し、先端研究を遂行する能力	17	24	3	0	0	44	4.32

2023-2025年度 経年推移



【結果まとめ】

- ・例年と概ね同じ水準で推移している。
- ・項目(ii)の英語科目に関する項目の評価がやや低いのは例年と同じ傾向。